

(平成30年2月15日一部修正)
平成30年2月9日
気象庁予報部

配信資料に関する技術情報第483号

～シグメット情報の改善について～

国際民間航空機関（ICAO）が定める国際民間航空条約第3附属書（ICAO Annex 3）「国際航空のための気象業務」に基づき当庁が発表しているシグメット情報（SIGMET）について、ひまわり8号等による観測技術の発達、数値予報の発展等により、現象の実況把握や予測がよりの確に行えるようになった事を踏まえ、情報内容の改善を行います。

また、ICAOが定める「航空気象業務方式に関するマニュアル（Doc 8896）」に基づき、SIGMET発表番号の記述方法を変更します。

1. 対象電文（データ種類コード）

- (1) 悪天に関するSIGMET（WSJP31）
- (2) 台風に関するSIGMET（WCJP31）
- (3) 火山灰の拡散状況に関するSIGMET（WVJP31）

2. 変更内容

(1) 山岳波による強い乱気流の明示（分類の変更）

当庁では現在、山岳波を要因とする強い乱気流については、それ以外の気象現象（晴天乱気流、中層雲雲底乱気流等）を要因とする強い乱気流と区別なく、“SEV TURB”として発表していますが、改善後は強い山岳波“SEV MTW”として発表します。新旧電文例を別紙に示します。（対象電文：WSJP31）

(2) 発表対象現象の追加

現在、当庁では以下（ア）～（カ）の現象について、SIGMETの発表対象現象として扱っていませんが、改善後はこれらの現象も対象とします。新しい電文例を別紙に示します。（対象電文：WSJP31）

（ア）OBSC TS

煙霧若しくは煙により隠れているか又は暗闇により不明瞭な積乱雲に伴

う雷電。

(イ) OBSC TSGR

煙霧若しくは煙により隠れているか又は暗闇により不明瞭な積乱雲に伴うひょうを含む雷電。

(ウ) SEV ICE (FZRA)

着氷性の雨による強い着氷。

※“(FZRA)”も現象名に含まれます。

(エ) HVY DS

ちりによる強い砂じん嵐。

(オ) HVY SS

砂による強い砂じん嵐。

(カ) EMBD TSGR / FRQ TSGR / SQL TSGR

他の雲により不明瞭な/隙間のない/線状の、積乱雲に伴うひょうを含む雷電。

(3) SIGMET 発表番号の記述方法の変更

現在、当庁が発表する SIGMET においては、一連の現象ごとに割り当てるアルファベットと、現象を区別しない一日の SIGMET 発表順を示す数字を組み合わせて発表番号を記述していますが、変更後は一連の現象ごとに割り当てるアルファベットとその現象ごとの発表順で記述します。具体例を別紙に示します。

(対象電文：WSJP31、WCJP31、WVJP31)

(4) 雷電に関する SIGMET における高度の情報の追加

現在、当庁では雷電 (TS) に関する SIGMET において高度 (Level) を記述していませんが、改善後は予想が可能な場合において積乱雲 (CB) の雲頂高度 (“TOP FLnnn” 又は “TOP ABV FLnnn”、nnn には 3 桁の数字が入る) を記述します。新旧電文例を別紙に示します。(対象電文：WSJP31)

3. 実施日時

前項に示した変更内容はそれぞれ以下の日時より実施します。

2. (1) (2)	平成 30 年 3 月 1 日 00JST (2 月 28 日 15UTC) 以降に発表するものから。
2. (3)	平成 30 年 3 月 1 日 09JST (00UTC) 以降に発表するものから。
2. (4)	平成 30 年 4 月 1 日 09JST (00UTC) 以降に発表するものから。

【改訂履歴】

●平成 30 年 2 月 15 日

- ・本文中 2. (2) (ア)、(イ) 及び (4) について、表現及び誤植を修正した。
- ・別紙中 (4) について、表現を修正した。

電文例等

(1) 山岳波による強い乱気流の明示 (分類の変更)

【新】

WSJP31 RJTD 080725

RJJJ SIGMET X01 VALID 080725/081125 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR SEV MTW FCST WI N3640 E14000 - N3750 E14000 -
N4040 E14050 - N4040 E14150 - N3910 E14220 - N3700 E14120 - N3640
E14000 FL020/100 STNR INTSF=

【旧】 (SEV TURB として発表)

WSJP31 RJTD 080725

RJJJ SIGMET X01 VALID 080725/081125 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR SEV TURB FCST WI N3640 E14000 - N3750 E14000 -
N4040 E14050 - N4040 E14150 - N3910 E14220 - N3700 E14120 - N3640
E14000 FL020/100 STNR INTSF=

(2) 発表対象現象の追加

【例1】“SEV ICE (FZRA)”を観測して発表する場合

WSJP31 RJTD 080725

RJJJ SIGMET X01 VALID 080725/081125 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR SEV ICE (FZRA) OBS AT 1115Z N3808 E14055
SFC/FL020 MOV ENE 20KT NC=

【例2】“HVY DS”を予想して発表する場合

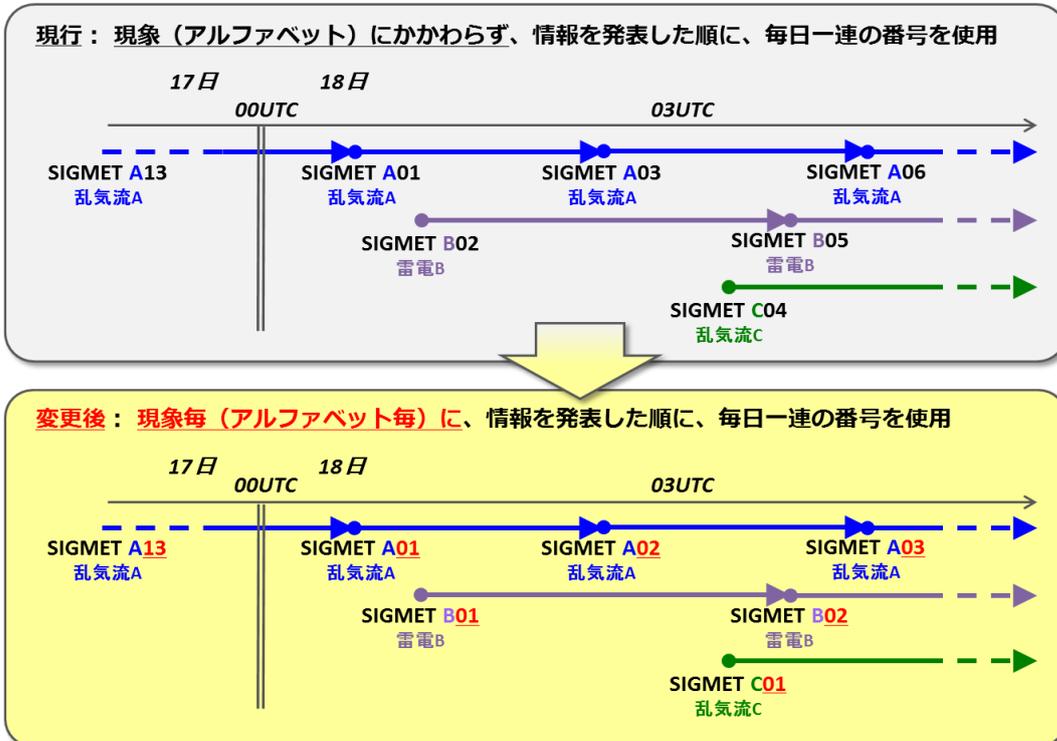
WSJP31 RJTD 260530

RJJJ SIGMET M01 VALID 260530/260930 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR HVY DS FCST WI N4220 E14100 - N4250 E14010
-N4448 E14446 - N4430 E14540 - N4337 E14547 - N4220 E14100
SFC/FL050 MOV E 30KT=

(3) SIGMET 発表番号の記述方法の変更

発表番号運用の具体例 (データ種類コードWSJP31の場合)



(4) 雷電に関する SIGMET における高度の情報の追加

【新】 CB の雲頂高度を FL450 より高いと予想して発表する場合
 WSJP31 RJTD 260530

RJJJ SIGMET M01 VALID 260530/260930 RJTD-
 RJJJ FUKUOKA FIR FRQ TS FCST WI N4220 E14100 - N4250 E14010 -
 N4448 E14446 - N4430 E14540- N4337 E14547 - N4220 E14100 **TOP ABV**
FL450 MOV E 30KT INTSF=

【旧】 (高度の情報なし)
 WSJP31 RJTD 260530

RJJJ SIGMET M01 VALID 260530/260930 RJTD-
 RJJJ FUKUOKA FIR FRQ TS FCST WI N4220 E14100 - N4250 E14010 -
 N4448 E14446 - N4430 E14540- N4337 E14547 - N4220 E14100 MOV E
 30KT INTSF=